



# 陽気だより

No80

2013.11.15

●ホームページからも「陽気だより」

最新号・バックナンバーをご覧ください

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和31年1月号から

「陽気」は、昭和24年4月の創刊、今年で64年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

誌上談じ合い室



## 家庭不和の悩みについて

—大鳥政治郎先生に聞く會—

妻に逃げられ、

親にもなじめぬ

果たして救いが得られるか

在満生活十三年、戦後引き揚げてから商売を始めました。その間家内をもらい現在八歳になる男の子があります。長い外地生活で親子の情も薄くなり、加えて商売上の意見対立から私と親たちの板ばさみになった妻は、三年前、ついに家を出ました。こんな時においをかけられ、すぐる思いで修養科に入りました。

ところが、入学しても、こうした家庭事情から、どうしても心が勇めず、悩めるまま卒業と同時に六カ月の常勤ひのきしんを命ぜられました。

ひのきしんに勇めないのは、あなたの心が荒れているからではないでしょうか。荒れた田地には稲は実りません。

今まで人間思案で通ってきた道が今日悩めるあなたの姿となつて現われてきている点を思案して、理を立ててみることで。必ず「すてとくにすてとけん、ほつとくにほつとけん」という理がみえてきます。

五つ、いずれもつきくるならば

六つ、むほんの根をきろう  
神様は、ついて来るなら、ちゃんとむほんの根を切つてやろうとおっしゃっています。あなたは「ありがとう」という気持ちになつて、いわゆる「やさしき心」でひのきしんをさせていたのです。

変らぬが誠と言われているように、周囲にとらわれずに六カ月の間アホウに徹し切れれば、いつかは喜べる日もあると私は確信しています。

再婚の是非を問う

妻は子供と共に実家へ去つた

私は結婚してから八年になりますが、妻は苦しい教会生

活に堪え切れず、五年前に双生児の子供をつれて実家に帰りました。

それが動機で私は単独布教に出ました。

この十月に私の布教所にどうでも名称の理をいたされたといふ思案してありますが、そのために五年も別れた妻にもう一度帰つてもらえないだろうかとか会長と二人で相談に参りましたところ、どうしても帰らないと申します。

私も子供と別れるのはつらいが、理の道は曲げられないので、この際思い切つて妻子と手を切り、新しく再婚して名称の理をいたさうかとも思案しております。

気長に妻の帰るのを待つのが良いか、それともキツパリ夫婦の縁を切つて教会をいたさうか、二者択一に迫られています。(大阪市・服部義二)

理を立てて身が立つ

救け一條に買けば解決する

お話を伺っていると、奥さんには物質中心の考えが支配しているようです。

あなたがぜひ帰ってほしいという気持ちも分りますが、

### 人間思案にとらわれすぎる アホウになつて徳をつめ

会長さんは、すべてを任せて勤め切れと、厳しいお言葉ですが、どうしても家庭のことが気がかりで、何のために六カ月もひのきしんをするのかも最近疑問に思つております。(木村良一・三十八歳)

あなたは少し人間思案にとらわれすぎているように思われます。これを棄て切つて、理の親を信ずることがまず第一です。

信は力なりで、全身全霊理の親に添い切つて勤めるならば、自ずからあなたの運命も拓けてくると思えます。つながり理がつながるのです。

今の奥さんの気持ちからは、なかなか決心がつかないでしょう。

そのことに心を煩わすより、あなたの場合は先ず名称の理をいただきなさい。そして親神様に喜んでいただくことが大切です。

道の楽しみは理の楽しみであり、奥さんの場合は世間の楽しみ、つまり金銭的な楽しみです。日々のことにだけとらわれた一時的な楽しみとも言えると思います。

理を立てて身が立つということ、道を思案していただきたい。身を立てるためには今の場合、道一條しかないと思います。

それがためには女の愛情、子供の愛情に流されず、おたすけに打ち込まれることです。二つ一つが天の理で、夫婦というものは、いつも一体に

なっていないければなりません。あなたの場合そうでないとすると、まだまだ苦勞して徳を積んでもらわねばなりません。

布教に専念されて、だんだん徳というものが身に備わってきたら、奥さんも必ず帰って来られます。

よふぼくとしてお道を通る場合、外へ出す涙を内に出しても理を立てることをやかましく言われています。

こちらから心を定めてかかって下さい。教祖は「心定めてついでに、末はたのもし道があるぞや」と言われて、女の身でありながら、いばらの道を通られた。

まして男のあなたが「何でも、どうでも」という氣迫に満ちた通り方をすれば、ご守護いただけるのはそんなに遠い日ではないと考えます。

内容：父母のこと、私の信仰、子へ伝えた

いこと、心に残る体験、生活の知恵、おやさ紀行、天理教への夢、社会への提言、その他、『陽氣』誌についてのご意見、ご感想など。

枚数：四百字詰め原稿用紙三枚まで。  
備考：原稿末尾に住所・氏名（匿名可）・年齢・職業・電話番号を明記。

送り先：〒632-0016

奈良県天理局私書箱十五号

養徳社「読者のひろば」係

FAX 〇七四三二六三一八〇七七

掲載に際しては、ページの都合上、一部編集させていただきます。掲載に関する問い合わせ、二重投稿はお断りいたします。原稿は返却いたしません。掲載の方には薄謝を呈呈。

# 陽氣ひめくり

教会名を入れると記念品に最適

文・筒井敬一  
書・杉岡華山

絵・青山文治



記名無料サービス（10冊以上）お申込みの文面を4cm×12cmの厚紙に1色刷りして下部にはりつけます

定価420円(税込)送料150円

※ご注文は前払いとなりますので定価に送料を加算して郵便振替にてご注文下さい。

好評発売中！

絵と文で甦る

天理教伝道ゆかりの地

## 『思い出のスケッチ』

—伝道ゆかりの地めぐり—



青山文治 著

A5判上製 口絵カラー8頁・本文184頁  
定価=1,470円(税込) 送料200円

※ご注文は前払いとなりますので定価に送料を加算して郵便振替にてご注文下さい。

## 『陽氣』定期購読

お 店まで買いに行くのが大変。忙しくて購入し忘れた。

定期購読はそんな手間を省きます。毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。(例：12月号は11月20日) まずはお問い合わせください。

購読料金

1年分…3,200円(12回分の送料込)



購読に関する問合せ先 ☎ 0120-920-398 養徳社 業務部窓口

Facebook で最新情報をチェック！ <https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽氣だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。  
<書籍・陽氣のご購入方法について> 前払いでお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽氣希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号00990-3-17694番 加入者名 養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を送らせて頂きます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部